

・主要施策, 事務事業

令和3年度(2021年度)競輪事業部運営方針(年度評価)

区 分	担当課	評価	評価の説明
1 函館競輪の魅力向上			
(1) 競輪事業および自転車競技への理解の促進			
競輪事業について市民の理解を促進するため、広報活動を充実するとともに、関係団体が主催する競技大会やサイクリング大会への支援などにより自転車の魅力を市民に伝えます。	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道自転車競技会選手権大会やトラック記録会、日本競輪選手会北日本地区プロ自転車競技大会'21などの開催を通じて、地域における自転車競技の普及・振興に努めた。</li> </ul>
(2) ファンサービスの充実と新たなファンの開拓			
売上増を図るため、令和3年度から変更となった新たな包括受託者と連携し、地元をはじめとした競輪ファンのニーズに合致した施策を積極的に展開するとともに、地元選手会や選手会OB会と協働し、競輪事業の活性化を図ります。	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営函館競輪のファンであるスターライト読者およびスピードチャンネル視聴者、インターネット投票者から意見、要望を調査し、ファンサービスの改善に役立てた。</li> <li>・市営函館競輪開催日はインターネット上で毎日レース実況の配信およびレース展開予想を実施した。また、インターネット向けの新たなファン層の取り込み策として、令和3年度からは選手OBを起用したニコニコ生放送の新たな番組の配信を行う等、ファンニーズに対応した情報提供を実施した。</li> <li>・函館けいりんYoutubeチャンネルで冬期場外発売GⅢ以上の決勝レースを対象に予想コンテンツを展開しインターネットユーザーに対してPRを行った。</li> <li>・地元特産品を取り扱う企業と連携し、視聴者プレゼントや入場者プレゼント等の企画を実施することでファンサービスの充実のみならず地元特産品のPRにも努めた。</li> </ul>
予想会や選手OBを活用したガイダンスコーナーの充実等により、若年者や初心者をはじめとした新たなファンの開拓に注力するとともに、お客様向け施設の改修やサービスの拡充により、コロナ禍にも対応した、お客様が快適に滞在できる環境の充実に努めます。	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・函館競輪を応援する著名人や地元タレントをはじめとした個人を「函館けいりん宣伝大使」に任命し、令和3年度においても継続して各人に函館競輪を幅広くPRしていただいた。</li> <li>・初心者でも気軽に参加できる「優勝者当て」や「優勝者地区当て」クイズを実施し、SNSでPRすることで老若男女問わずに競輪へ興味を持っていただく努力をした。</li> <li>・新たな受託者により、来場者向けの函館競輪AⅠ予想サービスを導入し、初心者でも気軽に車券購入するためのヒントを得られる環境を構築した。</li> <li>・若手の選手OBを活用して初心者向けガイダンスコーナーの拡充し、初心者が気軽に立ち寄り競輪のことを質問できる環境を整備した。</li> <li>・市営函館競輪開催日だけでなく、特別競輪の場外開催時などにおいても、選手会OB会や実況アナウンサーによるレース展望を開催することにより、ファンとの一体感を高めることができた。</li> <li>・受託者の提案によりフードコートの新設、キッズルームや場内サインのリニューアル等のお客様向け施設の改修を行い、お客様が快適に滞在できる環境の充実に努めた。</li> </ul>
近年、既存のファン層だけでなく、若年者や女性を中心とした新たな層からも注目されている「ガールズケイリン」の開催数を今後も確保できるよう関係機関に働きかけるとともに、未来のガールズケイリン選手の発掘、育成サポートを行う「ホワイトガールズケイリン育成プロジェクト」を実施し、自転車競技の普及・発展を目指します。	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガールズ競輪開催数の確保に向け関係機関に働きかけ、函館競輪では8年目となる「ガールズケイリン」を引き続き開催し、今まで競輪場に足を運ばなかった層がガールズケイリンの観戦を契機として来場する機会を捉え、競輪の魅力を実感的にPRし、認知度向上に努めた。</li> <li>・北海道所属の未来のガールズケイリン選手を発掘、育成サポートする「ホワイトガールズケイリン育成プロジェクト(WGP)」を実施し、日頃の練習状況や日本競輪選手養成所入所試験結果の速報等をSNSでリアルタイムに広く情報発信した。地域だけでなく日本全国に対して情報を発信することで自転車競技や競輪選手という職業の魅力に関する興味・関心を醸成した。令和3年度は訓練生2名が日本競輪選手養成所入所試験に合格している。</li> </ul>
函館競輪場やそこで行われる開催情報・イベント等を知っていただくためのツールとしてWebやSNS媒体をこれまで以上に活用し、多くのお客様に函館競輪場の魅力を伝えることで来場者の増加や新規ファンの確保に努めます。	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・函館けいりんHPやSNS媒体により、開催情報・イベント情報・レース情報提供を行うことで、市営函館競輪および函館競輪場の魅力の発信に努めた。</li> </ul>

区 分	担当課	評価	評価の説明
<p>(3) 自場発売の拡大やミッドナイト競輪の開催</p> <p>ファンサービスの拡大や新たなファンの開拓などにより自場発売の拡大に努めるとともに、集客性の高い特別競輪等のビッグレースを誘致し開催するなど、様々な形で競輪の魅力向上を図ります。</p>	事業課	A	<p>・令和3年度は、6年ぶり4度目となる特別競輪「サマーナイトフェスティバルGⅡ」を、バンクを彩るLEDの「光の演出」をはじめとした各種演出を行い、コロナ禍においても来場者やTV放送で視聴するファンを楽しませる仕掛けやイベントを実施したほか、急激に伸びているインターネット売上を増加させるため、インターネットTVやYouTubeなどの各種媒体で函館競輪のPRを行い、目標を上回る売上を上げることができた。</p> <p>・ミッドナイト競輪を引き続き18日間開催し、日中開催では競輪を楽しむことができない方々を中心とした新規ファンの獲得に努めた。</p> <p>・関係機関に対してビッグレースの積極的な誘致活動を行った結果、令和4年度には3度目となる2回のGⅢナイターの誘致に成功したことに加え、令和5年度には2年ぶり5度目となる特別競輪の「サマーナイトフェスティバルGⅡ」を開催することが決定した。令和5年度のサマーナイトフェスティバルの開催に向け、準備を入念に進めていくとともに、今後についても一層積極的な特別競輪の誘致活動を展開していく。</p>
<p>(4) 他の競輪場等との連携促進</p> <p>電話投票会員や臨時場外向けのファンサービスの拡大を図るとともに、全国のサテライト等へ発売の協力を依頼し、場外車券売場の拡大を図ります。</p>	事業課	B	<p>・従来より行っている電投ファン向け視聴者感謝キャンペーン等に加え、電投購入者向けにキャッシュバックや函館特産品が当たるキャンペーンを積極的に実施し、増加傾向にある電話・インターネット投票売上の取り込みに努めた。</p> <p>・他競輪場やサテライト等への発売協力依頼を継続して行ったことにより、時短営業や営業中止が求められるコロナ禍の開催においても最大限の臨時場外車券売場を設置することができた。</p>
<p>2 競輪事業の経営改善</p>			
<p>(1) 関係機関との連携による各種制度の改善</p> <p>全国競輪関係団体等と連携し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策をはじめとした、安全に競輪開催を行うための取り組みを実施します。</p> <p>長年の要望活動などが実り、平成24年度から競輪制度自体を見直し、長期的に競輪事業を継続できるよう、JKA交付金の負担軽減など自転車競技法が改正されたほか、競輪選手数やレース数の削減などによる選手賞金の削減などの改革が進められてきましたが、これらの効果を検証しつつ、今後とも関係機関と連携し、各種制度の改善要望活動を実施します。</p>	事業課	A	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、業界ガイドラインの内容に加え、函館独自の対策を追加した対策要領を関係機関と協力して策定し、関係者全員に対する開催毎の検査体制の構築のほか、飛沫防止・消毒・換気等の感染防止対策を十分に講じて運営を行うことにより、開催関係者の安全を確保しながら令和3年度の市営函館競輪の全日程を無事開催することができた。</p>
<p>(2) 競輪場施設の計画的・安定的な維持管理</p> <p>競輪場施設は、全面改修から既に19年以上が経過しており、今後の大規模改修等に要する財源確保が課題となっていることから、施設の計画的・安定的な維持管理を目的とした「競輪事業施設整備基金」への積み立てを行うと共に、しっかりとした財政収支試算を行い、将来の大規模改修等に備えます。</p>	事業課	A	<p>・コロナ禍による巣ごもり需要の高まりや、PRおよびキャンペーンに注力したことでインターネットによる車券売上が当初の想定よりも伸び、売上が当初予算を約46億円上回ったことや、新型コロナウイルス感染症に対応した開催形態への変更等により開催経費が抑えられたことで、当初予算を大幅に上回る674,530千円を基金に積み立てることができた。</p>
<p>(3) 市財政への貢献</p> <p>今後の収支改善により見込まれる収益については、施設改修費への充当や基金への積み立てのほか「市財政への貢献」という競輪事業の使命を達成するため、一般会計への繰り出しを継続して実施します。</p>	事業課	A	<p>・コロナ禍による巣ごもり需要の高まりや、PRおよびキャンペーンに注力したことでインターネットによる車券売上が当初の想定よりも伸び、売上が当初予算を約46億円上回ったことや、新型コロナウイルス感染症に対応した開催形態への変更等により開催経費が抑えられたことにより収益が確保され、70,000千円を一般会計に繰出すことができた。</p>